

# サンタ通信

VOL. 30

平成 27 年 4 月

発行  
サンタ企画

鹿角市花輪  
字上花輪 85-4

TEL&FAX  
(0186)  
22-0305

## やっと春ですね

長い冬も終わりを告げ、ようやく春の足音が聞こえてきました。例年よりも雪が多く、除雪がたいへんでした。体がきつかったです。

我が家も例外ではなく、十二月に二回も屋根の雪下ろしをしました。こんなことは初めてでした。

そんなたいへんだった冬も過ぎ去り、暖かい春になりました。卒業や入学、新社会人となったかたも多いと思います。みなさん、おめでとうございませう！

新生活を始めた皆様、メガネも新しくして明るい視界ですっきりしてみませんか？



最近では小学生のうちからパソコンやタブレット、スマートフォンなどを使いこなしていて、大人が思っている以上に子供さんの眼は酷使されています。

現在の主流は「ブルーカット」と呼ばれる機能を持ったレンズです。これはパソコンや液晶テレビ、LED照明などから照射されている眼には見えない青い光（ブルーライト）をレンズでカットして、眼に入らないようにしてくれるレンズです。

今では学生さんだけでなく、仕事でパソコンを多用するかたなどにも多く使っていたりしております。

余計な光線をカットしてくれるので、**日常生活（新聞や雑誌を読むときなど）でもピントが合いやすく、見えやすくなります。**

試してみたいと思ったら、店頭で見え方の違いを体験できますので、お気軽にスタッフまでどうぞ。



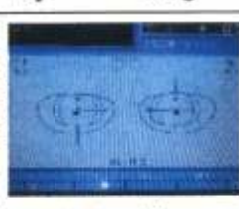
## メガネができるまで

### ●加工 2

さて、前号ではレンズの光学中心を測定して、機械にセットする直前までお話ししました。

今号では、いよいよよレンズを削っていく過程です。まずは**トレーサー**と呼ばれる機械にメガネフレームをセットし、レンズの型を機械に読み込ませます。

この機械はメガネフレームのレンズの型を読み取るためのだけの機械で、非常に高い精度でデータを読み込むことができます。



そのデータをもつひとつある**加工機**（レンズを削る機械）に送り、削りあがりのレンズの型を記憶させます。そうすると液晶モニターにレンズの型が表示されますので、フレームのフィッティングをしたときに測定した眼の位置を正確に入力します。

これで加工機の設定は終了です。

次に中心位置にしろしをつけたレンズに、**サクシヨンカップ**と呼ばれるレンズ

を固定させるための道具に専用の両面テープを貼り付けてレンズに固定しま

す。サクシヨンカップを取り付けたレンズを加工機にセットし、いよいよレンズを削っていきます。

正確な作業が要求されますので、少しも気を抜くことはできません。



(次号へつづく)



## 発表会

嫁さんが主宰しているピアノ教室の発表会が先日開催されました。

私と息子は大道具さんとしてお手伝い。あくまでもこの日の主役は生徒さん（娘）です。

午前中から準備をはじめてお昼からリハーサルを開始しましたが、見ていると保育園のお子さんから五十代のかたまで幅広い年齢層の生徒さんがい

るのに驚きました。

リハーサルも終わり、いよいよ発表会が始まりました。

小さい生徒さんからの演奏だったので、娘の出番は真ん中くらい。

やや緊張した顔でお辞儀をしてピアノに向かいました。大丈夫かな・・・。



そして演奏が始まりました。

演奏前の緊張感はどこへやら、楽しそうにピアノを弾く娘。どうやら本番に強いタイプの子のようです。少しだけミスもしましたが、大きなトラブルもなく最後まで演奏することができました。

ホッとした表情で引き上げる娘を見て私もホッと胸を撫で下ろしました。

その後は小学生によるピアノカ演奏をしました。

どちらもなかなか上手でしたね。

四月からは五年生となるわが娘。少しずつお姉ちゃんになってきて、ずいぶんしっかりしてきました。

これからも上手な演奏で、みんなを楽しませてほしいです。がんばれお姉ちゃん！



(テンチョウ)